

# みどりの風

令和3年2月22日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑  
の  
誓  
い

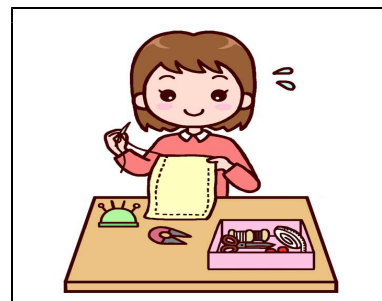
- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

## 卒業を前に、感謝の気持ちを表す6年生の活動

卒業式まで1ヶ月を切りました。今年1年、新型コロナウイルスに翻弄されながらも最高学年として全校児童を引っ張ってきてくれた6年生が、いよいよ巣立ちます。そんな6年生が、母校：緑丘小への感謝の気持ちを込めて、3つの活動に取り組み始めました。

### ①学年園、学校園（理科園）のプレートづくり

学校の改修工事に伴い、新しく「畑」も完成しました。学年（学級）ごとに栽培活動を進めるための「学年園」と、理科の観察・実験を行うために植物を育てる「理科園」です。年度末ということで今はまだ使っていませんが、4月になったらきちんと割り当てて活用を始めます。そこで、木製の学年札を作ることになりました。



### ②プロジェクター用カバーづくり

学習をより効果的に進めるために、全学級にプロジェクターを設置しています。電子機器なので丁寧に扱うことは勿論、保管にも気を遣わなければなりません。そこで、全16台のプロジェクターカバーを作ります。家庭科で学んだ裁縫技術が発揮されると期待しています。

### ③階段手すりのホコリ取り活動

既に、全校児童の靴並べを進めている6年生。新たに「階段手すりのホコリ取り」活動にもチャレンジしてくれます。立つ鳥、後を濁さずの言葉どおり、学び舎を掃除して飛び立とうとする6年生。先生方、そして下級生全員で、その頑張りを目に焼き付けたいと思います。多くの活動を進めながら、卒業式練習もスタートします。頑張れ、6年生！！

## 雪を吹き飛ばした心温まる光景

先週のある朝。高速船が欠航するほどの強い風が吹き、雪が舞い散る登校時間のこと。2年生の男の子が、降る雪を傘で受け止めながら楽しそうに歩いて来ます。次の瞬間、強風に傘が飛ばされ車道へ。慌てて拾い大事には至りませんでした。よっぽど雪降りが楽しいのか、再び傘で受けながら歩き出します。また飛ばされるかもと近寄ろうとした時、男の子の直前を歩く6年生男子に目が止まりました。歩くスピードを緩め、何度も何度も下級生を振り返りながら歩いているのです。傘が飛ばされそうになったらすぐに助けに行こうという構えです。ただ黙って見守り、いざとなったら支えようと……。胸がジーンとしました。そして嬉しくなりました。朝のあいさつを交わしながら、「あの子のことを気にしてくれたんだね？」と聞くと、こくんとうなずいて大股で坂を登る6年生。その颯爽とした姿に心の成長を感じました。凍える寒さも一気に吹き飛びました。子ども達は、人とのかわりの中でいろいろなことを学ぶのです。

